

2017/09/15(金)10:28

授業コード	6451010
授業科目名	インターネットと人権
英文科目名	
担当教員(複数の場合は代表のみ)	吉富 康成
担当教員(代表以外)	
配当年次	1
期間	2017年度 後期
曜日コース(来年度については無視してください。)	火曜4限
単位	2.0
履修条件・その他	なし
テキスト及び参考書	1. テキスト 第1,7~14回 吉富康成 編著「インターネットはなぜ人権侵害の温床になるのかーネットパトロールがとらえたSNSの危険性ー」, ミネルヴァ書房, 2014. 2. 参考書 第5回 竹内和雄, 「スマホ時代に対応する生徒指導・教育相談」, ほんの森出版, 2014. 第6回 原清治, 山内乾史 編著「ネットいじめはなぜ「痛い」のか」, ミネルヴァ書房, 2011.
成績評価の方法・基準	授業への主体的参加状況とレポートで評価する。
授業概要/テーマ・目標	<授業概要> インターネットは情報革命とグローバル化をもたらし、すでに社会基盤の1つとなっている。経済活動や生活などの利便性向上という点で、インターネットの功績は非常に大きい。その反面、人権の尊重や防犯の点では、インターネットは新たな問題を引き起している。 本授業では、インターネット上で起っている人権侵害、犯罪について、心理、法律、教育、実状、対策などの観点から論述する。現状を俯瞰するため、京都府警察本部サイバー犯罪対策課 ネットセキュリティ・サポートセンター ネットトラブル対策係長 吉岡竜之介 氏、京都府消費生活安全センター 啓発・教育担当 消費生活相談員 三室久枝 氏、および、京都府教育庁、から講師をお招きして、各分野の状況と対策をご講演いただく。そして、社会問題となっている「ネットいじめ」について様々な観点で研究されている、佛光大学 教育学部 原清治 教授、兵庫県立大学 環境人間学部 竹内和雄 准教授にご講演いただく。なお、京都府教育庁の講師の講演内容は、「ネットいじめ」に限らず「いじめ」全般を対象とする。 <到達目標> インターネット上で起っている人権侵害、犯罪について実状を把握すると共に、様々な場面、立場で、ネット社会で身を守るために何が出来るかを理解する。
授業計画	第1回 序論:心を蝕むインターネット、ネット人権侵害の基礎知識(吉富康成) 第2回 サイバー犯罪の現状について(京都府警察本部サイバー犯罪対策課 吉岡竜之介) 第3回 インターネットに関する消費者トラブルについて(京都府消費生活安全センター 三室久枝) 第4回 いじめの現状と対策について(京都府教育庁) 第5回 スマホ時代に対応した生徒指導・教育相談(兵庫県立大学 竹内和雄) 第6回 ネットいじめはなぜ「痛い」のか(佛光大学 原清治) 第7回 インターネットの仕組みと人権侵害(吉富康成) 第8回 ネットパトロールがとらえたSNSの危険性(吉富康成) 第9回 ネット人権侵害、法律と倫理(その1)(吉富康成) 第10回 ネット人権侵害、法律と倫理(その2)(吉富康成) 第11回 ネット人権侵害、法律と倫理(その3)(吉富康成) 第12回 ネット社会での人権教育の現状と課題(吉富康成) 第13回 ネットパトロール技術の現状と課題(吉富康成) 第14回 ネットヘイトスピーチの現状について(吉富康成) 第15回 総括:ネット社会の道しるべ(吉富康成)
授業外学習(予習・復習)等	レポート作成時に復習が必要となる。
外部リンク	
その他特記事項	2015、2016年度は、大学コンソーシアム京都(キャンパスプラザ)で開講した。
他学部・他学科受講可否	○
京都工芸繊維大学の単位互換	○
科目等履修生受講可否	○
当該科目に設定されている各種プログラム	